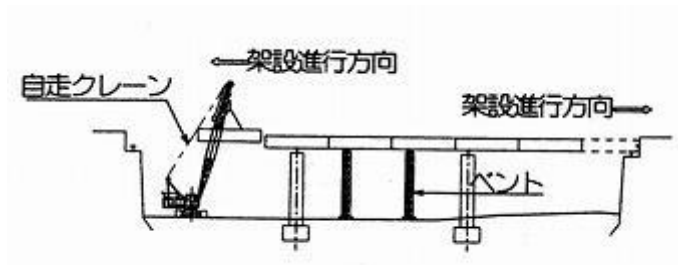


自走クレーン(TC, CC)片持ち式ベント工法

イメージ図



工法および特徴

1. 各ブロック毎のベント設置を省略し、複数ブロックを片持ち状態で支持する。
2. 片持ち系の応力や変形について設計時より検討する必要がある。
3. 仮設備の量は全工法のうち、最少となる。
4. 架設工期は他の工法に比べて最短である。